

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路建設課長 多田 智 (橋梁係長 谷口 徳男)	内線	4 3 6 2 (4 3 7 8)
------	-------------------	---------------------	-----------------------------	----	----------------------

事業種目	道 路	事業名	事業区 間	総事業費	4.0 億円
		永久橋架換事業 (一) 洲本松帆線 すもとまつほせん 松島橋 まつしまばし	南あわじ市松帆江尻 みなみしまつほえじり	内用地補償費	-

所 在 地		事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
南あわじ市松帆江尻		平成 19 年度	平成 19 年度	平成 21 年度

事業目的	事業内容等
<ul style="list-style-type: none"> ・本橋は、洲本市と南あわじ市を結ぶ県道洲本松帆線に架かる橋であり、淡路島東西間の交流を支える重要な路線である。また、バス路線でもあり本整備によってその機能の強化を図るとともに、産業・経済の発展を図る。 ・(二)三原川河川改修事業に併せて、阻害橋梁を整備することにより、治水安全度を高め、県民の生命及び財産を守る ・通学路に歩道を設置することにより、円滑かつ安全な交通の確保を図る。 	<p>事業延長 L = 220 m (うち橋梁部 L = 49.5 m)</p> <p>【計画幅員】 W = 5.5 (9.0) m (2車線+片側歩道橋 2.0m)</p> <p>【現況幅員】 W = 5.5 m (歩道無し)</p> <p>【計画交通量】2,800 台/日(H11 センサ×伸び率)</p> <p>【現況交通量(H17 センサ)】 自動車交通量 2,918 台/日 自転車歩行者交通量 101 人台/12h</p> <p>【負担割合】 県 10/10 (アロケ率) 河川 3.3/10 道路 6.7/10</p>

評価視点	
(1) 必要性 安全・安心の 確保	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路に指定されている本事業箇所歩道を設置することによって、円滑で安全な交通の確保を図る。 ・当橋梁は三原川と倭文川合流部に位置し、倭文川改修区間で治水上唯一残るネック部であり、橋梁より上流区間は改修済みである。 ・現況流下能力は計画高水流量(290 m³/sec)の4割程度でしかない。このため、松島橋を河川改修事業と一体的に整備し、治水安全度の向上を図る。
くらしと交 流を支える	<ul style="list-style-type: none"> ・当路線は、洲本市と旧西淡町(南あわじ市)市街地を結ぶ、淡路島東西間の交流を支える重要な路線である。当橋梁を架け換えることにより、地域間交流を更に高め、生活基盤の強化と淡路島全体の観光・産業の発展を支える。
(2) 有効性・効率性 有効性	(参 考)
代替性	<ul style="list-style-type: none"> ・費用便益比 B / C = 4 . 1 (松島橋を含む河川改修区間全体の値)
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・当該橋梁周辺は住宅が密集しているため、道路網及び地形的要因からも現道ルートを尊重した現計画が最適である。
(3) 環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・河川事業において、倭文川上流部より本橋梁まで改修が完了している。 ・倭文川右岸側用地は買収済みであるなど、円滑な事業執行に向け用地取得の面で地元の協力体制が整っている。
(4) 優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道部(橋梁部以外)には透水性舗装を採用し、雨水を地面に浸透させ自然環境の保全に配慮する。 ・昭和 55 年度から河川改修に着手し、倭文川では当該橋梁付近を残し改修済みである。 ・当該橋梁付近の河川改修に必要な用地買収が完了するなど、橋梁架け換えに着手する条件が整ったため、平成 19 年度より松島橋の架け換えに着手する。